

コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパー

TSC 0433

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー

目次

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー

特長と利点	2
補充	2
処理管理	2
保存	2
現像処理	2
手現像処理	3
ロータリーチューブ処理	6
自動現像機処理	8

コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパー

特長と利点	9
処理能力	9
保存	9
現像処理	9
手現像処理	10
ロータリーチューブ処理	11
フィルム現像処理早見表	12
サイズ	13
その他詳細な資料	14

コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパーは、ノーマル処理、増感処理したフィルムのシャドウディテール表現に優れた中庸活性度、液状白黒フィルム現像液です。白黒フィルム現像液兼補充液であることを除きコダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーも同様のことが言えます。ノーマル処理または1絞り、2絞りまたは3絞り増感処理をした場合、T-MAX デベロッパーと同様にコダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーは、従来の増感現像液よりもシャドウ ディテール表現に優れた高品質の画質が得られます。

T-MAX デベロッパーで**ロールサイズ**のコダック プロフェッショナル T-MAX フィルムや他の殆どの連続階調白黒フィルムの処理ができます。このデベロッパーをシートフィルムの処理には使用しないで下さい。T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーを使用して、殆どの連続階調白黒フィルムばかりでなく、コダック プロフェッショナル T-MAX フィルムの全てのロールおよびシートサイズを処理することができます。

T-MAX デベロッパーは、非補充システムで使用するようにデザインされています。補充システムで使用する場合は、T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーを使用してください。T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーは、補充システム用に特別に調製したハイドロキノン・ベースの、2液タイプ現像液ですが、非補充システムでも使用可能です。

T-MAX デベロッパーは、1液タイプの濃縮液で、1ガロン用と5ガロン用があります。1部の濃縮液と、4部の水を混ぜあわせ少量でも簡単に使用液を調製できます。T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーには、1ガロン用と10ガロン用があります。溶解した溶液は、使用液あるいは補充液として使用します。10ガロンサイズでは、2組のセットとなっており、各セットで5ガロンの溶液が作れます。



コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー

特長	利点
• 溶解した溶液は、タンク母液としても補充液としても使える	• 別に補充液を作る必要はない • スターター液が必要ない
• シートとロールフィルム現像処理用	• 現像液を分ける必要はない
• 濃縮液体	• 溶解が簡単
• 緩衝溶液	• 水質が異なっても影響が少ない
• 大型タンク補充方式として理想的	• 現像処理の均一性が極めて優れている
• 優れたシャドーディテール	• 調子再現に優れている
• 濃縮液と使用液の保存特性が極めて優れている	• 溶液の寿命が長い
• 適正露光されたフィルムでも、増感処理用に露光されたフィルムでも良く作用する	• ひとつの現像液で、標準処理用としても増感処理用としても使える

補充

135-36ロール1本、120ロール1本、または8×10インチフィルム1枚（またはそれと同等の面積）に対して45mlの補充液を加えます。補充液を加えた後は、溶液を完全に攪拌するか、循環させてください。

ご注意: コダック T-MAX デベロッパーを補充するために、コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーを使用しないでください。

処理管理

コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーの現像活性度を管理するためにコダック B/W プロセス コントロール ストリップ (CAT 180 2990) を使用してください。B/W プロセス コントロール ストリップを使用する際の詳細については、コントロール ストリップの包装の中に入っている使用説明書を参照ください。

保存

未使用の使用液は、充満状態で、完全に密栓をしたビンの場合6ヶ月間、溶液がビンに半分しか入っていない場合2ヶ月間、タンクにカバーをかけた場合1ヶ月間、保存することができます。濃縮液は2年間まで保存することができます。

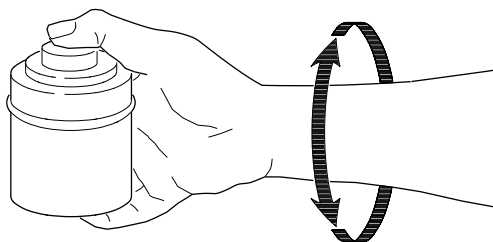
現像処理

次の表にある現像時間が、最良の時間を決めるに当たったの推奨値です。これらの値は、コントラスト インデックスを、コダック プロフェッショナル T-MAX 400では、0.60に、他のフィルムでは0.56になるようにした場合の現像時間です。また、これらの時間は散光式引き伸ばし機でプリントする際、最適なコントラストになるようなネガ作りをしたときの現像時間です。集光式引き伸ばし機でプリントする際には、20～30%現像時間を短縮してコントラストを調整してください。

手現像処理

小型タンク現像 [8オンス (237ml) または 16オンス (473ml) タンク]ーロール

30秒毎に1回攪拌します。フィルムを装てんしたリールを現像液に入れ、タンクにフタをします。気泡を取り除くために、作業台の上にタンクを強く打ち付けます。初期攪拌は、5秒間で5~7回の転倒サイクルで行ないます。すなわち、図に示したように腕を伸ばして手首を強く180度回転します。ついで、現像時間の残りの時間は、この攪拌方法を30秒間隔で繰り返します。



コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー								
コダック フィルム	感度	現像時間(分)						
	EI	18°C (65°F)	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)	27°C (80°F)	29°C (85°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	NR	8	7	7	6	—	—
	400	—	12	11	10	9	—	—
	800	—	NR	NR	NR	11 1/2	—	—
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	NR	8	7 1/2	7	6 1/4	—	—
	400	—	12 1/4	—	—	10	—	—
	800	—	—	—	—	11 3/4	—	—
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	NR	7	6	6	5	—	—
	1600	—	10	9	8	7	—	—
	3200	—	13	12	11	9 1/2	—	—
T-MAX P3200 プロフェッショナル	400*	—	8	7	6 1/2	6	5 1/2	5
	800	—	9	8 1/2	7 1/2	6 1/2	6	5 1/2
	1600	—	10 1/2	9 1/2	8 1/2	7 1/2	7	6
	3200	—	13	12	11	10	9	8
	6400	—	15	14	13	11	10	9
	12,500*	—	18	16	14	12	11	10
	25,000*	—	NR	NR	16	14	13	11
プロフェッショナル T-MAX P3200	400*	—	9	8 1/2	7 1/2	7	6 1/2	5 1/2
	800	—	10 1/2	9 1/2	9	8 1/2	7 1/2	6 1/2
	1600	—	12	11	10	9 1/2	8 1/2	7
	3200	—	14 1/2	13	12	11 1/2	10	8 1/2
	6400	—	16 1/2	15	13 1/2	13	11 1/2	10
	12,500*	—	18 1/2	17	15 1/2	14 1/2	13	11
	25,000*	—	NR	NR	17	16 1/2	14 1/2	12 1/2
プラス-X パン プラス-X パン プロフェッショナル	125/250	6 1/2	5 1/2	4 1/2†	4†	3 1/2†	—	—
	500	NR	9	8 1/2	7 1/2	6 1/2	—	—
プロフェッショナル プラス-X 125	125/250	5	4 1/4†	4†	3 1/2†	3†	—	—
	500	—	7 1/4	6 1/2	6	5	—	—
トライ-X パン	400/800	7	6	5 1/2	5 1/2	5	—	—
	1600	—	9 1/2	9	8 1/2	8	—	—
	3200	—	12	11 1/2	11 1/2	11	—	—
トライ-X パン プロフェッショナル	320	5	4†	3 1/2†	3 1/2†	3†	—	—
プロフェッショナル トライ-X 400 フィルム / 400TX	400/800	4 3/4†	4 1/2†	4 1/4†	4†	3 1/2†	—	—
	1600	8 1/2	7 3/4	7 1/4	6 3/4	6	—	—
	3200	—	9 1/2	9	8 1/4	7 1/2	—	—
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320	4 1/2†	4†	3 1/2†	3 1/4†	2 3/4†	—	—
ベリクローム パン	125	—	4†	4†	3 1/2†	3 1/2†	—	—

* これらの露光指数をつかった結果が要望に合っているかどうかをテストによって確認してください。

† 現像時間が5分より短い場合には、現像ムラを生じることがあります。

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー

手現像処理

大型タンク現像 [1/2~3 1/2ガロン (1.9~13.2L) のタンク] - ロール

大型タンクでのロール攪拌方法：最初の15~30秒間、バスケット、ラック、またはスピンドルを1cm (1/2インチ) 上げたり、下げたりして連続的に攪拌します。最初の1分のうちの残りの時間 (30~45秒間) は、バスケット、ラックまたはスピンドルを攪拌しないでください。次いで、1分間に1回、バスケット、ラック、またはスピンドルを現像から持ち上げ、約30度傾けて5~10秒間液切りを行ない、再び現像液に浸します。バスケット、ラック、またはスピンドルを傾ける方向は交互にします。

大型タンクでのシート攪拌方法：シートどうしを少なくとも1cm (1/2インチ) は離してください。アセテートまたは不要の8×10インチシートを入れたハンガーで分けて、不均一な現像や大きなシートを傷つけないようにします。(この不均一性は攪拌のときに、マルチプルハンガーの中央フレームの周りの渦流によって起こります。) タンクでハ

ンガーに入れた1枚あるいは複数のシートフィルムを攪拌するには、まずタイマーをスタートします。現像液の中に、注意深くひとまとめにしたハンガーを入れます。ハンガーを、タンクの縁に、フィルムの表面から泡が切れるように2、3回強く打ちつけてください。(気泡はフィルムの現像を阻害し、フィルム上に低濃度の点状のムラを起こします。) 最初の1分間の残りの時間は攪拌しないでください。現像液の中からハンガーを取り出して、左にほぼ90度傾けます。ハンガーを現像液に戻して、再び持ち上げ、今度は右にほぼ90度傾けます。この操作を可能な限りスムーズに、そして素早く大体5~7秒で行なってください。ハンガーを現像液に戻したあと、ハンガーの間隔をチェックします。現像時間の残りの時間は、1分ごとにこの攪拌サイクルを繰り返します。

注意：5×7インチ以上の大きさのフィルムを現像するときは、ハンガーを速く引き上げすぎて、フィルムが落ちてしまわないよう、気をつけてください。

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー

コダック フィルム	感度	現像時間(分)			
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	10	9	8	7 1/2
	400	NR	NR	NR	11 1/2
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	8 3/4	8 1/4	7 3/4	7
	400	—	—	—	11 1/4
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	8 1/2	8	7 1/2	7
	1600	12	11	10	9
	3200	NR	NR	NR	12
T-MAX P3200 プロフェッショナル	400*	10 1/2	9 1/2	8 1/2	7 1/2
	800	11 1/2	10	9	8
	1600	13 1/2	11 1/2	10 1/2	9 1/2
	3200	17	14 1/2	13	12
	6400	NR	18	16	14
プロフェッショナル T-MAX P3200	12,500*	NR	NR	18	17
	400*	10	9 1/2	8 1/2	8
	800	12	10 1/2	10	9 1/2
	1600	13 1/2	12 1/2	11 1/2	10 1/2
	3200	16 1/2	14 1/2	13 1/2	13
プラス-X パン プロフェッショナル	6400	NR	17	15	14 1/2
	12,500*	NR	NR	17 1/2	16 1/2
	125/250	8	7	6	5 1/2
プロフェッショナル プラス-X 125	500	NR	NR	NR	8
	125/250	4 3/4	4 1/2	4	3 1/2
トライ-X パン	500	NR	NR	NR	5 3/4
	400/800	10	8 1/2	7 1/2	6 1/2
	1600	14	12 1/2	10 1/2	9
トライ-X パン プロフェッショナル	3200	NR	NR	NR	13 1/2
	320	6	5 1/2	5 1/2	5
プロフェッショナル トライ-X 400 フィルム / 400TX	400/800	5	4 3/4	4 1/2	4
	1600	8 3/4	8	7 1/2	7
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320	4 1/2	4 1/4	3 3/4	3 1/4
ベリクローム パン	125	5 1/2	5	5	4†

* これらの露光指数をつかった結果が要望に合っているかどうかをテストによって確認してください。

† 現像時間が5分より短い場合には、現像ムラを生じることがあります。

NR=おすすりません。

注：最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

手現像処理

大型タンク現像 [1/2~3 1/2ガロン (1.9~13.2L) のタンク] – シート

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー					
コダック フィルム	感度	現像時間(分)			
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	12	11	9 ½	8
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	8 ¾	8 ¼	7 ¾	7
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	10	8	7 ½	6
プラス-X パン プロフェッショナル	125	9	8	7 ½	7
トライ-X パン プロフェッショナル	320	5	4 ½*	4 ½*	4*
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320/640	3 ½	3 ¼	NR	NR
エクタパン	100	5	4*	3 ½*	3*

* 現像時間が5分より短い場合には、現像ムラを生じることがあります。

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

皿現像シート

連続攪拌をします。フィルムの差し替え攪拌を全て行うたびに90度回転します。

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー					
コダック フィルム	感度	現像時間(分)			
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	11	10	9	8
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	7 ¼	6 ¾	6 ¼	5 ¾
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	8	7 ½	7	6
プラス-X パン プロフェッショナル	125	9	7 ½	6 ½	5
トライ-X パン プロフェッショナル	320	5	4	NR	NR
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320/640	2 ¾	2 ½	NR	NR
エクタパン	100	5	4	4	3

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー

ロータリーチューブ処理

ロータリーチューブ現像—ロールとシート

メーカー指定の攪拌方法にしたがってください。

コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー							
コダック ロール フィルム	感度	現像時間(分)					
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)	27°C (80°F)	29°C (85°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	7	6 ½	6	5	—	—
	400	12	11	10	8	—	—
	800	NR	NR	14 ½	12	—	—
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	7 ¾	7 ¼	6 ¾	6 ¼	—	—
	400	12 ¼	11 ½	10 ¾	10	—	—
	800	NR	NR	12 ¾	11 ¾	—	—
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	6 ½	6	5 ½	5 ½	—	—
	1600	10	9	8 ½	8	—	—
	3200	14	13	12 ½	12	—	—
T-MAX P3200 プロフェッショナル	400*	9	8	7 ½	7	6 ½	4 ½
	800	10	9	8	7 ½	7	5
	1600	12	11	10	9 ½	9	5 ½
	3200	15	13	11 ½	10 ½	9 ½	7
	6400	16	14	12 ½	11 ½	10	8
	12,500*	NR	15	14	13	11 ½	9 ½
	25,000*	NR	16	15	14	12 ½	11
プロフェッショナル T-MAX P3200	400*	9	8 ½	7 ½	7	6 ½	5 ½
	800	10 ½	9 ½	9	8 ½	7 ½	6 ½
	1600	12	11	10	9 ½	8 ½	7
	3200	14 ½	13	12	11 ½	10	8 ½
	6400	16 ½	15	13 ½	13	11 ½	10
	12,500*	18 ½	17	15 ½	14 ½	13	11
	25,000*	NR	NR	17	16 ½	14 ½	12 ½
プラス-X パン プラス-X パン プロフェッショナル	125/250	4 ½	4 ½	4	4	—	—
	500	9	8	7 ½	7	—	—
プロフェッショナル プラス-X 125	125/250	4 ¼	4	3 ½	3	—	—
	500	7 ¼	6 ½	6	5	—	—
トライ-X パン	400/800	6	5 ½	5	4	—	—
	1600	10	9	8	7	—	—
	3200	12	11	10	9	—	—
トライ-X パン プロフェッショナル	320	3 ½	3	2 ½	2	—	—
プロフェッショナル トライ-X 400 フィルム / 400TX	400/800	4 ½	4 ¼	4	3 ½	—	—
	1600	7 ¾	7 ¼	6 ¾	6	—	—
	3200	9 ½	9	8 ¼	7 ½	—	—
トライ-X パン プロフェッショナル	320	4	3 ½	3 ¼	2 ¾	—	—

* これらの露光指数をつかった結果が要望に合っているかどうかをテストによって確認してください。

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパ― アンド リプレニッシャー

コダック T-MAX RS デベロッパ― アンド リプレニッシャー					
コダック シート フィルム	感度	現 像 時 間 (分)			
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	7	6 ½	6	5
	400	12	11	10	8
	800	NR	NR	14 ½	12
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	7 ¾	7 ¼	6 ¾	6 ¼
	400	12 ¼	11 ½	10 ¾	10
	800	NR	NR	NR	11 ¾
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	6 ½	6	5 ½	5 ½
	1600	10	9	8 ½	8
	3200	14	13	12 ½	12
プラス-X パン プロフェッショナル	125/250	6 ½	5 ½	5	4 ½
	500	10 ½	10	9	8
プロフェッショナルトライ-X 320 フィルム / 320TXP	320	2 ½	2 ¼	NR	NR

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

自動現像機処理

ラック アンド タンク式自動現像—ロールとシート

これらの自動現像機用の現像時間は、2分毎にフィルムを移動させるマシンスピードに基づいています。下表に示された時間は、テスト開始時の推奨時間です。最良の現像時間を決定するには、テストを繰り返すことをお勧めします。

ラック アンド タンク現像—ロール		
コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー		
コダック フィルム	感度	現像時間 (分)
	EI	22°C (72°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200 400	6 ~ 8 8 ~ 10
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200 400	6 ~ 8 8 ~ 10
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800 1600	6 ~ 8 8 ~ 10
T-MAX P3200 プロフェッショナル	400†/800 1600 3200 6400 12,500†	6 ~ 8 8 ~ 10 10 ~ 12 12 ~ 14 14 ~ 16
プロフェッショナル T-MAX P3200	400†/800 1600 3200 6400 12,500†	6 ~ 8 8 ~ 10 6 ~ 8 8 ~ 10 10 ~ 12
プラス-X パン プラス-X パン プロフェッショナル	125/250 500	4 ~ 6 6 ~ 8
プロフェッショナル プラス-X 125	125/250	3 1/2 ~ 6
トライ-X パン	400/800 1600	6 ~ 8 8 ~ 10
トライ-X パン プロフェッショナル	320	6 ~ 8
プロフェッショナル トライ-X 400 フィルム / 400TX	400/800	4 ~ 6
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320/640	4 ~ 6
ペリクローム パン	125	6 ~ 8

* 現像時間は攪拌とタンクの大きさによって決まります。

† これらの露光指数をつかった結果が要望に合っているかどうかをテストによって確認してください。

ラック アンド タンク現像—シート		
コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー		
コダック フィルム	感度	現像時間 (分)
	EI	22°C (72°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	6 ~ 8
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	6 ~ 8
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	6 ~ 8
プラス-X パン プロフェッショナル	125	6 ~ 8
トライ-X パン プロフェッショナル	320	4 ~ 6
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320/640	4 ~ 6
エクタブン	100	4 ~ 6
プロフェッショナル コピー / 4125	12 ~ 25	4 ~ 6

* 現像時間は攪拌とタンクの大きさによって決まります。

注: ローラートランスポートプロセッサにT-MAX RS デベロッパーを使用してはいけません。ローラートランスポートプロセッサには、コダック デュラフロ RT デベロッパー スターター、コダック デュラフロ RT デベロッパー リプレニッシャーおよびコダック ラピッド フィクサーの使用をお勧めします。

コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパー

特長	利点
<ul style="list-style-type: none"> 濃縮液 混合比率1:4 緩衝溶液 	<ul style="list-style-type: none"> 溶解が簡単 必要な量のみ溶解可能 水質が異なっても影響が少ない
<ul style="list-style-type: none"> 優れたシャドーディテール 小型タンクおよびロータリーチューブプロセッサー用に理想的 処理能力が大 	<ul style="list-style-type: none"> 調子再現に優れている 現像処理の均一性が極めて優れている 1ガロン(3.8L)当たり48本までのロールが処理可能
<ul style="list-style-type: none"> 濃縮液と使用液の保存特性が極めて優れている 適正露光されたフィルムでも、増感処理用に露光されたフィルムでも良く作用する 	<ul style="list-style-type: none"> 溶液の寿命が長い ひとつの現像液で、標準処理用としても増感処理用としても使える

処理能力

この処理液の処理能力は、通常の処理で処理時間の補正をする場合、1ガロン(3.8L)当たり135-36または120フィルム約48本(またはそれと同等の面積)です。増感処理用にこの現像液を使用する場合、処理能力は低くなります。

ご注意: コダック T-MAX デベロッパーを補充するために、コダック T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャーを使用しないでください。

処理時間の補正

T-MAX デベロッパー 1ガロン(3.8L)当たりのフィルム本数を最大限多く現像処理するためには、下表に従った処理時間の補正をしてください。48本のロールフィルムを現像処理した現像液は棄ててください。増感処理用にこの現像液を使用する場合、1バッチ フィルムを現像処理した現像液は棄ててください。処理能力が低下した処理液は、再利用しないでください。

処理時間の補正		
コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパー		
フィルムサイズ	本数 (ガロン当たり)	増加すべき 現像時間*
136-36 120	1 ~ 16	標準の現像時間
	17 ~ 32	標準の現像時間+1分
	33 ~ 48	標準の現像時間+2分

* 最初に推奨された時間と温度に対して。

保存

未使用の使用液は、充满状態で、完全に密栓をしたビンの場合6ヶ月間、溶液がビンに半分しか入っていない場合2ヶ月間、タンクにカバーをした場合1ヶ月間、保存することができます。濃縮液は2年間まで保存することができます。

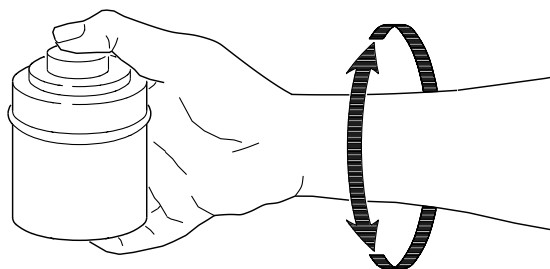
現像処理

次の表にある現像時間が、最良の時間を決めるに当たっての推奨値です。これらの値は、コントラストインデックスを、T-MAX 400では、0.60に、他のフィルムでは0.56になるようにした場合の現像時間です。また、これらの現像時間は、散光式引き伸ばし機でプリントする際、最適なコントラストになるようなネガ作りをしたときの現像時間です。集光式引き伸ばし機でプリントする際には、20~30%現像時間を短縮してコントラストを調整してください。

手現像処理

小型タンク現像 [8オンス (237ml) または 16オンス (473ml) タンク] ーロール

30秒毎に1回攪拌します。フィルムを装てんしたリールを現像液にいれ、タンクにフタをします。気泡を取り除くために、作業台の上にタンクを強く打ち付けます。初期攪拌は、5秒間で5~7回の転倒サイクルで行ないます。すなわち、図に示したように腕を伸ばして手首を強く180度回転します。ついで、現像時間の残りの時間は、この攪拌方法を30秒間隔で繰り返します。



コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパー							
コダック フィルム	感度	現像時間(分)					
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)	27°C (80°F)	29°C (85°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	8	7 1/2	7	6 1/2	—	—
	400	12	11	10	9	—	—
	800	NR	NR	NR	10 1/2	—	—
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	7 1/2	7	6 1/2	6 1/4	—	—
	400	12 1/4	—	—	10	—	—
	800	—	—	—	11 3/4	—	—
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	7	6 1/2	6 1/2	6	—	—
	1600	10	9	8	8	—	—
	3200	NR	NR	NR	9 1/2	—	—
T-MAX P3200 プロフェッショナル	400*	7 1/2	7	6 1/2	6	5	4†
	800	8	7 1/2	7	6 1/2	5 1/2	4 1/2†
	1600	8 1/2	8	7 1/2	7	6	5
	3200	11 1/2	11	10 1/2	9 1/2	8	6 1/2
	6400	14	13	12	11	9 1/2	8
	12,500*	16	15 1/2	14 1/2	12 1/2	10 1/2	9
	25,000*	NR	17 1/2	16	14	12	10
プロフェッショナル T-MAX P3200	400	8 1/2	8	7 1/2	6 1/2	5 1/2	4 1/2†
	800	9 1/2	9	8 1/2	7 1/2	6 1/2	5 1/2
	1600	10 1/2	10	9	8	7	6
	3200	12	11 1/2	10 1/2	9 1/2	8	6 1/2
	6400	13 1/2	13	12	11	9	7 1/2
	12,500	15 1/2	14 1/2	13 1/2	12	10	8 1/2
	25,000	NR	16	15	13 1/2	11 1/2	9 1/2
プラス-X パン プラス-X パン プロフェッショナル	125/250	5 1/2	5 1/2	5	5	—	—
	500	NR	NR	NR	9	—	—
プロフェッショナル プラス-X 125	125/250	5 3/4	5 1/4	4 3/4†	4 1/4†	—	—
	500	NR	NR	NR	6 1/4	—	—
トライ-X パン	400/800	6	6	5 1/2	5 1/2	—	—
	1600	10	9 1/2	9	8 1/2	—	—
	3200	NR	NR	NR	11	—	—
プロフェッショナル トライ-X 400 フィルム / 400TX	400/800	6	5 3/4	5 1/2	4 3/4†	—	—
	1600	8 3/4	8 1/4	7 3/4	7	—	—
3200	NR	NR	NR	8 1/4	—	—	
プロフェッショナル トライ-X 320 フィルム / 320TXP	320	7 1/4	6 3/4	6 1/4	5 1/4	—	—
ペリクローム パン	125	6	5 1/2	5	4†	—	—

* これらの露光指数をつかった結果が要望に合っているかどうかをテストによって確認してください。

† 現像時間が5分より短い場合には、現像ムラを生じることがあります。

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

ロータリーチューブ処理

ロータリーチューブ現像一ロール

メーカー指定の攪拌方法にしてください。

コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパ							
コダック フィルム	感度	現像時間(分)					
	EI	20°C (68°F)	21°C (70°F)	22°C (72°F)	24°C (75°F)	27°C (80°F)	29°C (85°F)
T-MAX 100 プロフェッショナル	100/200	6 ½	6 ½	6	5 ½	—	—
	400	10 ½	10	9	9	—	—
	800	NR	NR	14	12 ½	—	—
プロフェッショナル T-MAX 100	100/200	7 ¾	7 ¼	6 ¾	6 ¼	—	—
	400	12 ¼	11 ½	10 ¾	10	—	—
	800	NR	NR	12 ¾	11 ¾	—	—
T-MAX 400 プロフェッショナル & プロフェッショナル T-MAX 400	400/800	6 ½	6 ½	6	5 ½	—	—
	1600	8 ½	8	7 ½	7	—	—
	3200	11	10 ½	10	9 ½	—	—
T-MAX P3200 プロフェッショナル	400*	6 ½	6	5 ½	4 ½	3 ½	3
	800	7 ½	6 ½	6	5	4	3 ½
	1600	8	7	6 ½	5 ½	4 ½	4
	3200	11	9 ½	8 ½	7 ½	6	5 ½
	6400	13	11 ½	10 ½	9	7 ½	6 ½
	12,500*	14 ½	13	12	10 ½	9	8
	25,000*	NR	15	14	12	11	10
プロフェッショナル T-MAX P3200	400*	8 ½	8	7 ½	6 ½	5 ½	4 ½
	800	9 ½	9	8 ½	7 ½	6 ½	5 ½
	1600	10 ½	10	9	8	7	6
	3200	12	11 ½	10 ½	9 ½	8	6 ½
	6400	13 ½	13	12	11	9	7 ½
	12,500*	15 ½	14 ½	13 ½	12	10	8 ½
	25,000*	NR	16	15	13 ½	11 ½	9 ½
プラス-X パン プラス-X パン プロフェッショナル	125/250	5 ½	5	4 ½	3 ½	—	—
	500	9	8	7	6	—	—
プロフェッショナル プラス-X 125	125/250	5 ¾	5 ¼	4 ¾	4 ¼	—	—
	500	8 ¾	8	7 ¼	6 ¼	—	—
トライ-X パン	400/800	6	5 ½	5	4 ½	—	—
	1600	9	8	7 ½	6 ½	—	—
	3200	12	11	10	9	—	—
トライ-X パン プロフェッショナル	320	8	7 ½	7 ½	6	—	—
プロフェッショナルトライ-X 400 フィルム / 400TX	400/800	6	5 ¾	5 ½	4 ¾	—	—
	1600	8 ¾	8 ¼	7 ¾	7	—	—
	3200	NR	NR	NR	8 ¼	—	—
プロフェッショナルトライ-X 320 フィルム / 320TXP	320	7 ¼	6 ¾	6 ¼	5 ¼	—	—

* これらの露光指数をつかった結果が要望に合っているかどうかをテストによって確認してください。

NR=おすすめしません。

注: 最初に**太字**の現像時間をお薦めします。

フィルム現像処理早見表

処理前に

- フィルム装填前に、全てのハンガーとリールが清潔で乾燥していることを確認してください。
- 現像前のパンクロマチック フィルムは全暗黒中で取り扱ってください。
- 全ての処理液の温度が現像液の温度に近くなるようにしてください(±1.7°C [±3°F])。ほとんどの現像の推奨処理温度は20°C (68°F)です。コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパーでは24°C (75°F)です。

ステップ	時間	攪拌と注意
1. 現像	現像時間表をご覧ください。	<p>小型タンク (リールを重ねて蓋ができるタンク) –まず、気泡を取り除くために、流しや作業台の上にタンクを強く打ちつけます。その後約4回上下転倒攪拌を30秒毎に行ないます。(T-MAX フィルムの場合は、5秒間に5回の転倒攪拌をします。) 1回の転倒は約1秒で行ないます。現像液をこぼさずに転倒できない場合は、約25cm (10インチ)の弧を作るように前後に、前記と同じ時間攪拌します。</p> <p>大型タンク (開口部のある通常シートフィルムを処理する直方体のタンク) –まず、気泡を取り除くために、ハンガーをタンク上部に強く打ちつけます。その後1分間に2回の割合で、ハンガーを持ち上げ、傾け、液切りをします。均一な現像を行なうため、右に傾けたら、次は左に傾けます。</p>
2. 停止	30秒	連続的に攪拌します。
3. フィクサー	フィルムが透明になる時間(乳白でなくなる)の2倍の時間定着します。通常濃縮液タイプのフィクサーで2~4分、粉末タイプのフィクサーで5~10分定着します。	小型タンクの場合、最初に30秒間連続攪拌して、その後30秒間隔で攪拌します。大型タンクの場合は1分間隔で攪拌します。
4. すすぎ	30秒	タンク中のフィルムを流水ですすぎます。
5. ハイポ クリアリング エージェント	1~2分	最初に30秒間連続攪拌して、その後30秒間隔で攪拌します。
6. 水洗	5分	5分間で容器の水が完全に入れ替わるくらいの流水を確保します。小型タンクで迅速水洗するには、水をタンクいっぱいに入れ、捨てるサイクルを10回くりかえします。
7. 水滴防止	30秒	処理時間のうち5秒間静かに攪拌します。硬水しか得られない地域でしたら乾燥跡を少なくするために蒸留水にコダック フォト フローを混ぜ使います。
8. 乾燥	必要時間	フィルムをきれいで、埃の無い場所に吊してください。
処理後	処理薬品を入れた処理器具を全て水洗して、乾燥します。	完全に乾燥したら、ネガティブをスリーブか封筒に入れて、埃や、極端な温度、湿度を避けて保存してください。詳細については、コダック出版部TSC0055「コダック フィルムおよびペーパーの保存と注意」をご覧ください。

販売サイズ

コダック プロフェッショナル T-MAX RS デベロッパー アンド リプレニッシャー	CAT No.
1ガロン (3.8L) 用	844 6163
10ガロン (38L) 用 (5ガロン用が2梱包)	825 4237

コダック プロフェッショナル T-MAX デベロッパー	CAT No.
1ガロン (3.8L) 用	140 2767
5ガロン (19L) 用	159 9844

コダック B/W フィルム プロセス コントロール ストリップ	CAT No.
50枚入り	180 2990

その他の詳細な情報

コダック社では、皆様のお役に立てて頂きたい、コダック製品、装置および材料に関する出版物を多数用意しております。この出版物に記載された資料は、コダック プロフェッショナル製品を販売しているQディーラー加盟会社や写真材料販売店からお求めになれます。

お問い合わせについては、下記の各地コダック株式会社プロフェッショナル事業部、あるいはコダック社インターネットページ(英文)をご利用ください。

<http://www.kodak.com/go/professional>

- F-7 KODAK VERICHROME Pan Film
(和文:TSC0488 コダック ベリクローム パン フィルム)
- F-8 KODAK PLUS-X Pan and KODAK PLUS-X Pan Professional Films
(和文:TSC0489/0490 コダック プラス-X パン / コダック プラス-X パン プロフェッショナル フィルム)
- F-9 KODAK TRI-X Pan and KODAK TRI-X Pan Professional Films
(和文:TSC0530 コダック トライ-X パン / コダック トライ-X パン プロフェッショナル フィルム)
- F-10 KODAK EKTAPAN Film
(和文:TSC0487 コダック エクタパン フィルム)
- F-32 KODAK T-MAX Professional Films
(和文:TSC0407 コダック T-MAX プロフェッショナル フィルム)
- F-4016 KODAK PROFESSIONAL T-MAX Films
(和文:TSC0585 コダック プロフェッショナル T-MAX フィルム)
- F-4018 KODAK PROFESSIONAL PLUS-X 125 Films
(和文:TSC0586 コダック プロフェッショナル プラス-X 125 フィルム)

コダック株式会社 プロフェッショナル事業部

お客様相談センター Tel.03-5644-5040

東京 Tel.03-5644-5020 / 大阪 Tel.06-6120-6650 / 札幌 Tel.011-738-5220

仙台 Tel.022-791-7445 / 名古屋 Tel.052-953-6940 / 福岡 Tel.092-413-8430

ホームページアドレス <http://www.kodak.co.jp/go/professional>

